

がん医療

1-(1)放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進

活動(アウトプットをもたらす活動の内容)	結果(アウトカムをもたらすために期待される活動の結果)	中間成果(目標アウトカムに資する中間的な変化)	目標成果(達成すべき目標;あるべき姿)
<p>1</p> <p>県と拠点病院は、がんを診るすべての医師が、インフォームド・コンセントを行いセカンドオピニオンを推奨すし、且つ行うため、すべての医師に対して緩和ケア研修会を行い「医療者向け患者さんのチェックリスト」の配布を行う。</p> <p>県は、医療機関と協力連携して、すべてのがん患者および家族に対して「患者必携」の配布を行う。</p>	<p>病院勤務医の大多数が、緩和ケア研修会修了者となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、拠点病院勤務医の60%、専門的がん診療施設勤務医の50%、その他の病院勤務医の40%が、研修会を修了している。</li> <li>・29年度には、拠点病院勤務医の80%、専門的がん診療施設勤務医の70%、その他の病院勤務医の60%が、研修会を修了している。</li> </ul> <p>「医療者向け患者さんのチェックリスト」が配布されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度には、がん診療に携わるすべての医師に対し、「医療者向け患者さんのチェックリスト」が配布されている。</li> </ul> <p>「患者必携」が配布されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度には、すべてのがん患者および家族に対し「患者必携」が配布されている。</li> </ul>	<p>インフォームド・コンセントを受けている患者が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、すべてのがん患者の80%の患者がインフォームド・コンセントを受けている。</li> <li>・29年度には、すべてのがん患者がインフォームド・コンセントを受けている。</li> </ul> <p>セカンド・オピニオンを施行した患者が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、50%以上の患者および家族がセカンドオピニオンを受けている。</li> <li>・29年度には、80%以上の患者および家族がセカンドオピニオンを受けている。</li> </ul>	<p>住んでいる地域に関わらず、すべてのがん患者が適切ながん医療を受ける事が出来る。</p> <p>【目標】 標準治療実施率が90%以上となる。</p>
<p>2</p> <p>県は、県および地区歯科医師会、拠点病院と連携して、がん患者の口腔ケアのマニュアルと地域連携パスを作成し、それらの推進のために委員会を発足させ活発に活動する。</p>	<p>マニュアルが完成し運用している。。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度には、マニュアルが完成している。</li> <li>・26年度には、専門的がん診療施設の50%で運用されている。</li> <li>・29年度には、専門的がん診療施設の100%で運用されている。</li> </ul> <p>地域連携パスが完成し運用している。。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度には、マニュアルが完成している。</li> <li>・26年度には、専門的がん診療施設の50%で運用されている。</li> <li>・29年度には、専門的がん診療施設の100%で運用されている。</li> </ul> <p>推進委員会が発足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年には、推進委員会が発足し活動している。</li> </ul>	<p>医科歯科連携による組織的な口腔ケアを受けているがん患者が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、がん患者の50%以上が組織的な口腔ケアを受けている。</li> <li>・29年度には、がん患者の90%以上が組織的な口腔ケアを受けている。</li> </ul>	
<p>3</p> <p>県は、拠点病院と連携し、放射線療法の専門スタッフを養成し、適正に配置を行い、放射線療法の質を向上させる。</p> <p>県と拠点病院は、化学療法の推進のために、専門医療スタッフを養成し配置を行う。また、レジメン登録審査委員会を推進し、外来化学療法室の充実を図る。</p> <p>県は、拠点病院をおよびがん専門的診療施設と連携を図り、地域住民に配慮した一定の集約化を図った手術療法の実施体制の構築を図る。</p>	<p>放射線療法の専門スタッフが増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、専門スタッフが現行の1.5倍に増加する。</li> <li>・29年度には、専門スタッフが現行の2倍に増加する。</li> </ul> <p>化学療法の専門医療スタッフが増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、専門スタッフが現行の1.5倍に増加する。</li> <li>・29年度には、専門スタッフが現行の2倍に増加する。</li> </ul> <p>レジメン登録と、審査・管理が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、登録が100%になり、審査管理が30%になる。</li> <li>・29年度には、登録が100%になり、審査管理が60%になる。</li> </ul> <p>がん専門的診療施設における外来化学療法室が整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、がん専門的診療施設において70%設置されている。</li> <li>・29年度には、すべてのがん専門的診療施設に設置されている。</li> </ul>	<p>がん患者に対する放射線療法の施行率が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、がん患者全体における放射線治療施行率が30%になる。</li> <li>・29年度には、がん患者全体における放射線治療施行率が50%になる。</li> </ul> <p>化学療法専従医師によって化学療法を受けるがん患者の割合が増える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、がん患者全体における30%で化学療法を受けている。</li> <li>・29年度には、がん患者全体における50%で化学療法を受けている。</li> </ul> <p>がん専門的診療施設における、手術療法の割合が増加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度には、70%となる。</li> <li>・29年度には、90%となる。</li> </ul>	